



令和4年1月1日

らいかい恵子 議員便り 238号

合志市市議会議員 来海恵子 合志市幾久富 1642-38 ☎ 090-9655-1143

新年あけましておめでとうございます！みなさま方には、良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も、みなさまのご意見に耳を傾け良か合志市つくりに頑張ります。議員は公職選挙法で選挙区には年賀状が出せないので、20年間感謝の気持ちを込めて元旦から議員便りを一人で8,000枚配っています。見かけたら声をかけてください。

【令和3年12月議会一般質問から抜粋】



良か合志市になるため

マイナンバーカードを使ってコンビニで証明書発行を

来海：熊本県内では、マイナンバーカードを使ってコンビニで証明証発行を行っている自治体があります。合志市でもポイント制付与からマイナンバーカードを持っている方が増えており、考えてほしいのですが？

使いみちいろいろ！ マイナンバーカード			
 マイナポイントがもらえる！ (2020年7月～申込み開始)	 健保証として使える！ (一部の医療機関・薬局で対応しています。)		
 本人確認書類になる！	 各種証明書をコンビニで取得できる！		
 行政手続がオンラインでできる！	 e-Taxももっと簡単・便利に！		
マイナンバーカードの安全性		マイナンバー制度について	
 マイナンバーカードの安全対策		 マイナンバー制度の概要（内閣府）	
 マイナンバー制度の安全対策（内閣府）		 マイナンバーを利用する行政手続で提出書類が省略できるようになります。（内閣府）	
 マイナンバー制度に便乗した不正な勧誘や個人情報の取得にご注意ください！		 マイナンバーカードの申請方法（J-LIS）	

(総務省HPより)

市民部長：現在、県内では11市、6町がマイナンバーカードを利用した各種証明書等のコンビニ交付を実施しています。本市においても、マイナンバーカードをお持ちの方が4割を超える、コンビニ交付の要望も増えています。市民サービス向上のために、令和4年度中の導入・実施に向けて取り組みます。

地域の核となる公園遊具について

来海：地域を回っていると公園には、ほとんど子供の遊具しかみかけません。各自治区にグラウンドゴルフやゲートボールのコースはありますが、老人会に入っていない方もたくさんいます。地域の中核となる公園に老若男女、散歩したときにできる健康遊具があれば楽

しみじやないかなと思います。すぐにではなくても、随時機会があるごとに設置してほしいと思いますがいかがでしょうか？

都市建設部長：健康遊具の設置については、「健幸都市こうし」に寄与する意見と受け止め、老朽化した遊具等の更新の際などに公園のバランスを考慮して、また計画的に設置を進めていきたいと思います。



来海：新開の公園に備えられていて、朝夕利用されているのを見かけます。市民が健康になれば医療費の削減になり、市の財政も潤いますのでよろしくお願ひします。

コロナ禍の分散登校についての検証と課題

* 分散登校の検証はされたのか？

来海：8月に小中学校の分散登校がありました、「①分散登校の検証はされたのか？②そこで浮かび上がった問題点と、その対応は？」の2点について伺います。

教育審議委員：感染対策とともに教育保障を含めて実施した分散登校は、マニュアルのない中での実施でしたが、学校での感染が1例も確認されなかつたことが一番の成果だったと思っています。①実施状況を把握するために全ての学校に調査を行い、校長会で実施上の効果と課題を確認ました。②1点目は、自宅待機の子どもたちへのオンライン授業の提供にかかる課題です。タブレットを使ったオンライン授業は、教師も子どもたちも本年度配布されたばかりのタブレットの操作に非常に不慣れな中でのスタートとなりました。そのためICT機器に堪能な職員がいる学校と、そうでない学校で格差が生じました。活用が進まない学校には、教育長自ら学校に出向いて指導されました。タブレットの活用については年度当初、学校の授業や家庭学習に利用することを想定しておりましたので、突然始まったオンライン授業にタブレットをどう活用したらいいかということの検討を進めながら、タブレットにインストールされたオンライン会議のためのソフト「Teams」をオンライン授業に活用しました。会議用ソフトのために、授業用として活用するには課題も生じました。子どもたちへの事前指導も十分にできずに、初めは子どもたちがパジャマのまま自宅で参加をするなど、あるいはTeamsで他人の画面や音声を消したりするような操作上の誤りが発生したために、分散登校期間中にすぐ各学校の担当者を集めて検討会議を開いて課題の解決にあたりました。また、子どもたちがタブレットを操作する上で、個人に割り当てられたパスワードは、担任が管理するために規則性はありながら、類推（類似するもの）を使用し

るいすい

て他の事を推し量るという意味)されにくいパスワードを設定していましたが、分散登校期間中に担任のパスワードを使った書き込み、あるいは子どもたちだけでTeamsを作るなどの事案が発生しています。市の校長会で情報を共有して、各学校にはIDとパスワードは他人に教えない、端末を他人に貸したり使わせたりしない、個人情報をインターネットに上に絶対に上げない、他人を傷つけたり嫌な思いをさせることを絶対に書き込まないという情報モラルの徹底をしました。教育委員会でも子どもたちの活用状況を確認でき、不適切な使用があった場合には学校からすぐ指導するようお願いしています。保護者にもタブレットの不適切な使用があった場合の対応について、注意喚起の文章を安心メールで配信しました。



2点目の課題は、自宅待機の子どもたちの生活リズムなどの健康面や生活面です。一日交代の分散登校で、どうしても生活リズムがうまくつくれない子どもや、一日に数時間のオンライン授業で目の健康や体力の低下、オンライン授業の開始にあたっての事前のルールづくりや指導が不十分だったことも上げられます。各学校に授業配信の時間を15分～20分程度に短縮した授業を子どもたちに配信することで、子どもたちの集中や負担軽減を図るようお願いしています。体力の低下については、コロナ禍で運動機会の確保が非常に難しい状況で、今できることをしっかり取り組むようお願いしています。

来海：全員協議会で報告を受けたとき、オンライン事業が1時間～3・4時間と学校間で格差がありましたが詳しく教えてください。

教育審議委員：タブレットの操作については、ICT機器に堪能な職員がいる学校とそうでない学校があります。もともと授業の中で活用するというタブレットの目的が、オンライン授業という当初年度初めに想定していなかったので温度差があったのは事実です。教育長自ら学校に出向いて、具体的な操作についての指導を行われました。学校において準備に格差があったために、ICT機器の操作が十分活用できる学校は、1時間目～4時間、そうでない学校はタブレットを使った授業は1時間、それ以外の授業として担任が授業をするところがあつたりと、あるいは分散登校の最初にオンライン授業ができない、準備が整っていない学校については、分散登校で登校してきた子どもたちのみを対象にした授業を実施していたというような、学校によっての格差がありました。

来海：4月から、IT支援員さんも入っています。子どもたちに聞くと、今は図工や国語や算

数、英語などで使うみたいです。教育長自らの指導もいいけど、先生方が忙しいのは分かっていますが勉強会を開いて研究していただきたい。熊本市にできて、合志市でできないことはないと思います。やはりせっかく全員にタブレットを1人1台揃えたなら、学校間格差や授業の内容も充実していくべきではないでしょうか。

教育審議委員：教育委員会として、日常的に授業の中で活用していくための方策を検討しています。例えば、現在紙媒体で各学年購入している副教材を電子媒体のものに置き換えれば、授業の中での活用がさらに進みます。現在も教科書の中にQRコードが入っていて、タブレットを使うことで深い学びの学習ができており、ご指摘事項を教育委員会として前向きに取り組みたいと思っています。

来海：コロナ禍になって不登校やいじめの状況を伺います。

教育審議委員：県下全域で不登校の数は増加傾向にあり、合志市も同様です。不登校の子どもたちへの学びの保障、教室で一緒に授業を受ける、生活をするというような機会が減っているのは事実です。いじめについては、10月の段階では0件で、9月に1件発生しています。この件については解決を見ていますが、国や県の方針で「3か月間の見守りをもって解決という言葉を使える」ので、今は見守りの期間です。それ以前では、4月に1件、5月に3件、6月に3件発生しましたが3か月見守り解決しています。

来海：西合志南中の特別支援学級では、タブレットを導入して自主的に子どもたちが自分で調べて勉強しただしたそうです。電子黒板を併用時にタブレットに先生の背中しか映らないので、子どもたちが自主的にどうやったら電子黒板が映るか工夫してくれたそうです。「自主性や思いやりが出てきて良かった！」と、喜ばれていました。もう一つ、この学級では教室に入れない子や、人と多くかかわるのが苦手な子どもたちが、タブレットのリモート授業ですごく生き生きとしたそうです。熊本市では特別チームをつくって、リモートで不登校の子どもたちに授業をしています。合志市でも、いかがでしょうか？

教育審議委員：不登校の子どもたちへの学びの保障については、非常に子どもたちがやる気を持って取り組んでいます。さらにその内容が充実するように教育委員会の中で検討を進め、各学校、将来的には全クラスで授業の様子を各家庭に配信することによって、教室に入れない子どもたちの学びがさらに徹底していくようにしたいと思っています。

